

第10回岡山県こども備前焼作品展を開催 出品数911点、来場者数約3700人 まちなかこども備前焼作品展を実施 岡山県こども備前焼作品展実行委員会

活動の目的

岡山県の伝統文化である備前焼を通して、次世代を担うこどもが豊かな感性や創造性を養い、活力ある市民生活と地域文化の発展に貢献することを目的とする。

また、特別賞作品を伊部駅周辺ギャラリーに展示をすることで伊部のまちなかに新しい人の流れをつくる一助とする。

活動の内容及び経過

六古窯として日本遺産に認定されている「備前焼」について、日本の伝統工芸として広くこどもたちに伝統文化の継承をはかるため、6月に市広報紙やホームページに募集要項を掲載した。高等学校及び前年度出品校園にはメールで、過去に出品歴のある団体には文書により、出品の案内・参加依頼を実施した。その結果、近年出品がなかった団体からも出品がありPR効果があった。今年度より、備前焼の焼成を協力することにした結果、実際に出品者の窯の利用も見られた。

8月1日（木）から9月6日（金）出品申込の受付を実施した。

9月24日（火）リフレセンターびげんで、岡山県備前焼陶友会の備前焼作家による審査員と岡山県重要無形文化財「備前焼製作技術」保持者等の備前焼作家からなる特別審査員により審査会を実施し、911点の作品の中から、161点の受賞作品を選定した。

10月19日（土）備前焼まつりに合わせ、特別賞、優秀賞受賞者（45名）を対象とした表彰式を備前焼ミュージアム前特設ステージで開催した。また、同日と翌20日（日）リフレセンターびげんで、特別賞作品を除く作品の展示をした。

さらに、特別賞受賞作品（30点）は10月1日（火）から10月31日（木）まで、伊部駅周辺備前焼ギャラリー10ヶ所で展示をした。

活動の成果・効果

市内の全ての幼稚園・認定こども園から高校、市外の前年度出品校園のほか、過去に出品歴のある学校などへの広報活動により、911点と多数の応募があった。特に今年は高校生の作品が多く、いずれも完成度が高い作品だった。市内と市外の出品校のこどもたちには当事業への周知が進みつつあり、備前焼及びその制作についても普及してきていると考える。

作品展示については、備前焼まつりに合わせて展示したことにより約3700人の来場があり、多くの人に備前焼及び当作品展の周知ができたと思う。

また、特別賞の作品を伊部駅周辺のギャラリーに展示したことにより、受賞者の家族や友人知人がギャラリーを訪



れることによって、まちなかに新しい人の流れを創造することができた。

今後の課題と問題点

911点と多くの応募があったが、前年と比べ出品数はわずかに減少している。小・中学生は例年通り学校・クラス単位でテーマを決めて作った作品が多く、キャラクターから着想を得た作品がよく見られた。審査員からは、やきものの用途としての美や、子どもらしい自由な発想を生かした作品の出品を求める声が多い。今後は、キャラクターをアレンジした作品を、審査でどのように考えていくか課題である。また、作品制作の協力をよりアピールし、出品しやすいように工夫しつつ、各校と協力を継続して作品展の出品依頼やPRを続けたい。

- 代表者：金重有邦 ●所在地：備前市東片上
- TEL：0869-64-1837 ●E-MAIL：bzbunka@city.bizen.lg.jp
- URL：https://www.city.bizen.okayama.jp/site/bunkasinko/8353.html
- 設立年：2011年 ●メンバー数：13名